

岩手郡医報

高橋 孝先生書



初冬の唐津城

Contents

- 平成14年度岩手郡医師会学術講演会兼高橋孝先生厚生大臣賞受賞記念祝賀会
報告者 坂 正毅
- 平成14年度岩手郡医師会主催心肺蘇生法実技講習会
岩手町会場 坂井 博毅
葛巻町会場 西島 康之
- 小児救急における各医療圏合同会議
高橋 孝
- 平成14年度岩手郡医師会産業医研修会 於：ケアホームやすみ
八角 正司
- 特別講演「私の産業医活動」
関東自動車工業株岩手工場健康管理センター所長 中屋 重直
岩手医科大学客員教授 坂井 博毅
- 第138回岩手県医師信用組合 理事会報告
坂井 博毅
- 岩手県立沼宮内病院移転新築落成記念祝賀会
三善 悟信
- 県医師会野球大会参戦記
- 県医師会親善ゴルフ大会参戦記
- 編集後記

2002.12.No.75
**岩手郡
医師会**

平成14年度岩手郡医師会学術講演会

高橋 牧之介会長挨拶

恒例の講演会開催にあたり、お忙しい中をお集まりくださいましてありがとうございます。

今日の講演会は2題で一つは菊地先生より悪政を斬るのテーマですが、恐らくは小泉内閣を斬るのだと思います。

医学・医療の進歩による医療費の増大は不可避とし、経済財政至上主義の小泉内閣は、聖域なき構造改革の一環として医療制度改革を強行している。そし

て、被用者保険の3割負担、高齢者の完全定率負担を導入した健康保険法等改正や、今年4月の診療報酬マイナス改定、総合規制改革会議などによる医療特区構想での営利企業参入などは、医療の本質を全く無視した経済優先の政策だし、また、根拠のない不合理な今回の診療報酬改定は早急に見直して頂かないとなりません。胸のすくようなお話になればと思っております。



学術講演『百歩も千歩も譲りましょう』—肺癌買いますか？ タバコ止めますか？—

岩手県立中央病院呼吸器内科部長 竹内 健一先生

前半は肺結核治療における最近の考え方について講演された。

結核に対する日本の治療法は世界レベルに比べ、かなり低いとの事であった。外国では、保健婦などが毎日患者の家庭に出向いて、服薬を確認しながら投薬しているとのことであった。

続いて本題のタバコの害について、ユニークな例を挙げながら思わず引きこまれる話がなされた。「肺癌買われますか？ タバコ止めますか？」と



司会の西島副会長



特別講演 竹内先生



質問する西谷先生

特別講演『悪政を斬る』 政治評論家 菊池 久先生

「悪政を斬る」と題して、政治評論家の菊池久氏が講演。拉致問題の裏で日朝の政治的駆け引きが続けられており、来年の夏頃には、その驚くべき実態が国民の前に明らかになるであろうと

のことであった。また政界トップ達は色々なスキャンダルにまみれており、このままでは国民の政治不信は一層強まるであろうと警告された。(文責 坂 正毅)



司会の高橋会長



政治評論中の菊池先生



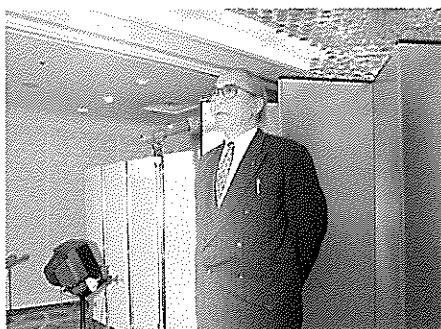
質問する久保谷理事

高橋 孝先生厚生大臣表彰受賞記念祝賀会

岩手郡医師会副会長の高橋孝先生は去る10月16日、長年にわたる国民健康保険事業の発展に貢献され、その功績が認められ、坂口力厚生大臣より表彰を受られました。この栄誉を讃え学術講演会のあと会長より記念品が贈られ祝賀会が行われました。

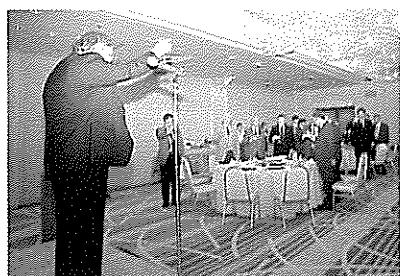


会長祝辞と挨拶



高橋副会長謝辞

～ 学術講演会記念懇親会 ～



学術講演会記念懇親会



懇親会風景



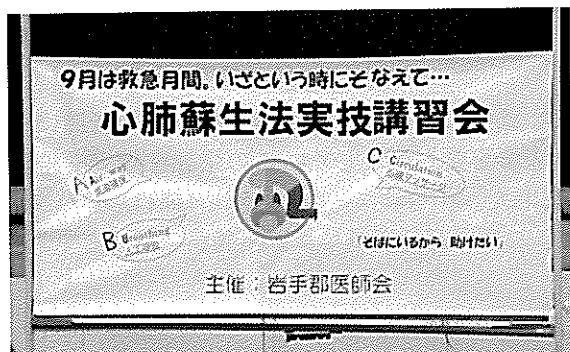
懇親会風景

岩手郡医師会主催心肺蘇生法実技講習会

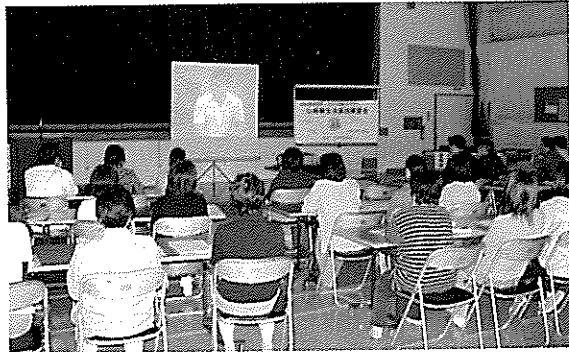
平成14年度の岩手郡医師会主催心肺蘇生法実技講習会は岩手町と葛巻町で開催することが理事会で決定された。平成14年9月16日、岩手町では青少年ホーム、葛巻町では保健センターの2会場に多くの町民の方々にお集まりいただき盛大に開催されました。

岩手町会場

主に小学校のPTAの約40数名の方々にお集りいただき、ビデオリサーチに引き続き高橋岩手郡医師会長の基調講演、そして柄内理事、久保谷理事、篠村理事のダミーを使った熱のこもった実技指導が行われました。家庭に帰ると高齢者をかかえている方が多く熱心に反復練習していました。大変実りある実技講習会で高橋会長を始め講師の先生方に心から感謝申し上げます。



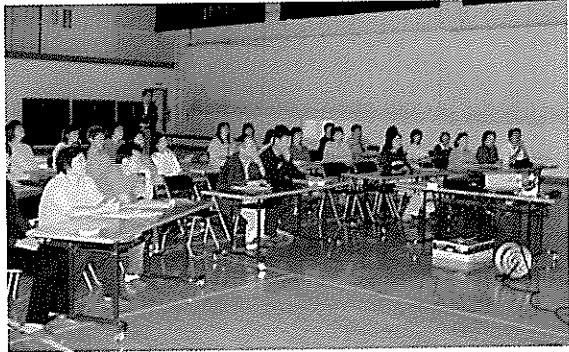
実技指導講習会タイトル



ビデオリサーチを熱心に見つめる参加者



高橋会長の基調講演



基調講演に釘づけの参加者



柄内理事の実技指導風景



久保谷理事の実技指導風景

葛巻会場

救急月間にちなんで9月16日午後1時30分より葛巻保健センターで心肺蘇生法の研修が開催された。岩手郡医師会からは高橋牧之介会長・佐々木・篠村・柄内・久保谷理事が出席。35名が受講した。開催に先だち高橋会長から心肺蘇生法の重要性についてお話をいただき、続いて心肺蘇生法ビデオ供覧の後、篠村・柄内・久保谷3名の先生が、ダミーを使用して実技が行われた。参加者は真剣に受講して、盛会裏に終了した。その後葛巻町のグリーンテージに移り遅い昼食をとりながら反省会が開かれた。講師の先生方遠い所をご苦労様でした。

また、参加者の取りまとめ、会場の準備等大いなるご尽力をいただいた保健センター柴田課長、下屋敷保健師長に深く感謝申し上げます。(文責 西島)



葛巻会場



講演会場内



実技指導



実技指導中の篠村理事



実技指導中の久保谷理事



実技指導全景

小児救急における各医療圏合同会議

零石町 高橋 孝

日時 平成14年11月2日(土) 午後3時

場所 岩手県医師会館3階 視聴覚室

会長が公務の為私が出席して参りました。岩手県小児科医会、岩手県医師会、郡市医師会より55名程の参加した会議でした。

会員の皆さん既にご存知のことと思いますが、平成14年9月19日の朝日新聞に大きく、「今月4日、4箇所の病院でつぎつぎと診療を断られた末、原因不明で乳児が亡くなつた、云々」の記事がとりあげられた。会議のなかでは、当該医師会の一関医師会より詳細な報告があり、問題点の整理、今後の対応策などが話し合われ、各医療圏での小児救急の現状報告が行われた。岩手郡医師会としても、8箇町村で会員を含め、約15パーセントの小児科標榜医がいること、休祭日における小児救急は盛岡市の夜間急患診療所、輪番病院にお願いしていることが多いことを申しあげました。小児科専門医の少ない中で、特に内科医師、他科の医師の初期小児救急医療への参画など体制作りが必要なことが述べられた。このことについては、岩手郡は知識のある会員が多いためか、参加者が少なかったが、他科医師の小児救急への知識の研鑽のため、岩手郡医師会と紫波郡医師会と共同で小児科以外の医師の参加をよびかけ、平成14年9月27日(金)18時30分より岩手県医師会館の大ホールにおいて「小児救急疾患のワンポイントアドバイス」と題して岩手県赤十字血液センターの谷口繁先生の講演を企画拝聴した。

10月29日の岩手日報に医師会だより「お元気ですか」で夜間や休日に、お子さんが体調を崩したらを表題として、かかりつけの小児科に夜に発熱した時等の対応について聞いておく、日中具合が悪いときは早くかかりつけ医か病院を受診して下さい。さらに夜間診療所、盛岡市小児救急輪番体制を紹介した。会議では一人小児科医の輪番病院の医師の疲労困憊の話、日直、当直手当の話等、多くの討論を行ったが結論として、次のことが決まつ

た。

- 1) 患者から診療依頼があったら絶対断らない
 - 2) 診療科、重症度などで1次、2次、3次でも紹介を要すると判断したときは、紹介先の医師に医師が自ら診療依頼の電話連絡をすること、決して看護師等に連絡はさせない。勿論病、診連携。診、診連携の大切さは言うまでもない。
 - 3) 病院にあっては休祭日、夜間を含めて診療科等の情報を住民に開示すること。
 - 4) 救急車の利用も考える。
 - 5) 乳児検診の折り等に保護者に救急医療を含めて、夜間の対応等話し合っておく必要があるのではないか。
 - 6) 今までの救急医療体制を堅持、維持し、小児の救急体制も今まで通り堅持する。
- 以上でしたが、疑問の点がございましたらお電話ください。



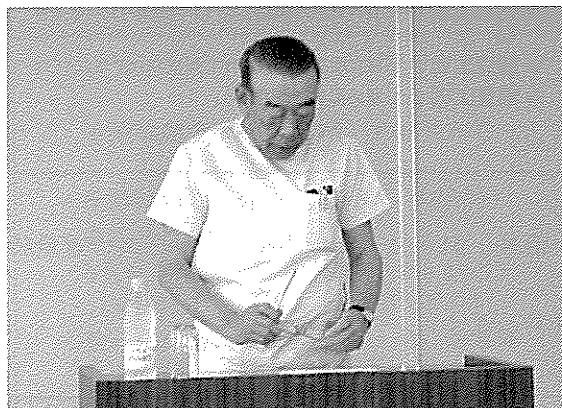
平成14年度岩手郡医師会産業医研修会

産業医担当 八角 正司

岩手郡医師会主催の産業医研修会が10月26日(土)午後2時～5時まで玉山村介護老人保健施設ケアホームやすみにて開催された。



最初に八角正司産業医担当理事が挨拶し、続いて三善施設長からケアホームやすみの職員88名の健康診断実施状況の報告と今後の問題点が提示された。



続いて岩手医科大学客員教授で関東自動車工業(株)岩手工場健康管理センター所長の中屋重直先生が「私の産業医活動」と題して関東自動車工業(株)岩手工場1800～1900名の健康管理の実際を詳しくお話をいただいた。そのスライドの内容のコピーをいただいたので紙面が増えますが掲載します。諸先生方の産業医活動の参考になれば幸いです。

最後にケアホームやすみの施設内の見学をし、隨時解散した。今回の研修会には33名の岩手郡医師会の産業医が参加し、他の市医師会からは北上医師会の小豆島正博先生も参加した。



平成14年10月16日 岩手郡医師会14年度産業医研修会 私の産業医活動

中屋 重直

関東自動車工業(株)岩手健康管理センター所長・岩手医科大学客員教授
日本労働安全衛生コンサルタント会岩手支部長

1. 関東自動車工業(株) 岩手工場について

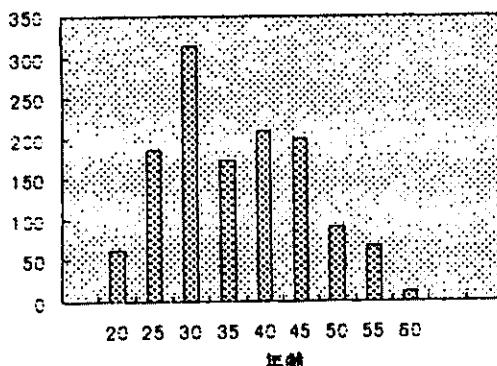
平成5年11月操業開始。岩手中部工業団地(岩手県金ヶ崎町)の中に96万m² (東京ドーム20個分!)

従業員数は最大時1,900名、現在1,300名。99%までが男性、平均年齢は36歳。

35歳以上者が600名余おり、そのうち33%が独身、12%(73名)が単身赴任。

就業は週休完全2日、8時から17時まで。ただし、増産時には早朝から深夜までの2交代制をとる。

マークII、アルテッツア(輸出時レクサス)、ウィンドム年産15万台まで可能。一日600台。



自動車が作られる工程

- **プレス工程:** 鋼材をプレス機で打ち抜いて車体部材を作る。
- **ボデー工程:** ロボット溶接機で自動的にボデー骨格を作る。
- **塗装工程:** ブース内で下塗り、中塗り、上塗りを繰り返す。
- **化成工程:** 樹脂材を射出成型してバンパーとインパネを作る。
- **組立工程:** 多様な部品を組み付けて完成車にする。
- **検査工程:** 全車の品質検査を行う。

2. 考えられる健康障害要因

騒音、紫外線、赤外線、レーザー光、溶接粉塵、温熱、引き金工具、手持ち振動工具、重量物取扱い、有機溶剤、ウレタン樹脂

3. 産業医活動紹介(安全衛生委員会への資料から抜粋します)

・長時間労働・運動不足・肝機能障害・高脂質血・労働災害事故・高喫煙率

目標　喫煙者率を下げる

- ◆ 喫煙者が多い、かぜをひいているのに吸っている、禁煙ポスターが見られない、灰皿がたくさん置いてある、けむたい、喫煙場所が明確でない。
- ◆ タバコの健康影響についての知識普及
- ◆ 禁煙希望者への支援(3~6ヶ月間)プログラム
- ◆ 生活の諸場面における節度ある喫煙

タバコをやめる意思はありますか？

- ・深夜業健診の受診者男性1001名の中、
- ・**喫煙 710名 (71%)**
- ・以前吸っていた 98名 (10%)
- ・非喫煙 193名 (19%)
- ・喫煙者のうち、やめる意思がある者 177名 (25%)
- ・もし禁煙に成功すれば、喫煙率は53%になる。
・(やっと全国のみ)

○来週11月1日発行の産業医学ジャーナル(25巻6号)に数頁にわたって紹介記事が掲載されます。ぜひお読みいただきご批判なりを頂戴できればうれしく思います。

岩手の保健指導状況について

中屋重直
関東自動車工業株式会社
岩手診療所・健康管理センター

実質利用者数

- ◆ 13年11月 総数525名
- ◆ 健診215名と再検119名を除き 191名
- ◆ 日平均 8.7人
- ◆ 月 10.5、火8.8、水6.5、木7.0、金12.0人

2月の残業65時間超 219名
99~120時間が 14名いる。

頭痛、腹痛、腰痛などで来所する者が増えた。「このままでは、まいってしまう」
月45時間の残業をこえると、過労死の危険が高まる。
月100時間、2ヶ月80時間が過労死認定基準。

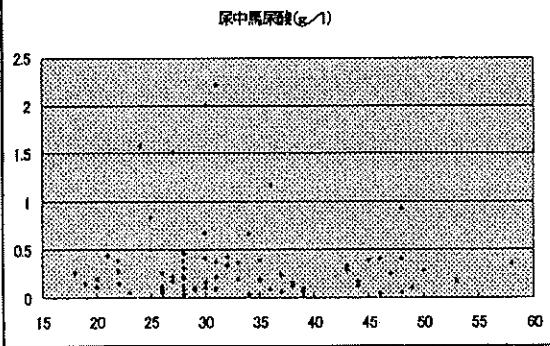
重症度でみると(13年12月)

- ◆ A : 比較的緊急に医療措置を要する容体
- ◆ B : 数日以上同じ症状で、翌日の診療でもいいかという程度
- ◆ C : 検査・投薬・説明など予約可能な者
- ◆ 計223名 A 23 (10.3%)、B 71 (31.8%)、C 129 (57.8%)
- ◆ 日平均 13.1人
- ◆ 内訳 (A 1.4、B 4.2、C 7.6名)

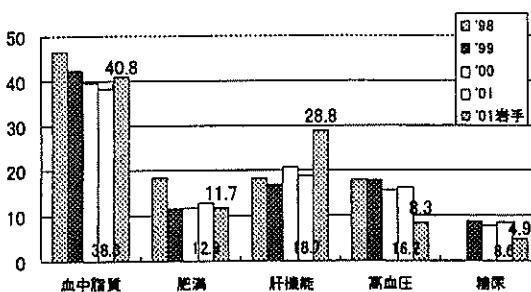
有機溶剤検診 (02年3月) の結果から

- 受診者83名、有所見者 5名 (6.0%)
- 有所見の内訳 :
- 5名が尿中馬尿酸量高値(1~2.5 g /mol)
(検診時のトルエン暴露が大きい)
- 第一化成係、第二化成係、第二塗装係各1名と塗装保全係2名

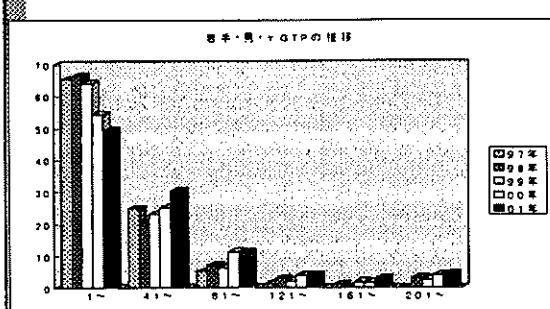
年齢と相関はないけれど、



岩手工場では 高血圧が少ない。



この3年くらいで肝機能異常割合が増加した。

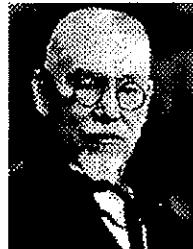


「衛生活動時間」

岩手健康管理センター診療所
中屋重直

初代 内務省衛生局長 長与尊栄が、衛生という語の創設者
二代目局長は岩手県水沢出身の偉人後藤新平(1857-1929)

- ・後藤新平は のちに台湾総督、満鉄総裁、鐵道院社長、東京市長を歴任した。
- ・「人のお世話にならぬよう、人のお世話をすること、そして むくいをもとめぬよう」



毎週火・木の午後は休診、

「衛生活動時間」

- ・治療した患者がいつ治ったのか確認したい。
- ・治療方針が誤っていないか振り返りたい。
- ・予防活動の効果を判定したい。
- ・保健教育の技法と評価方法を修得したい。

ドイツで衛生学を学んだ 文豪 森鷗外

- ・森林太郎(1862~1922)
帝国陸軍衛生部軍医総監
- ・衛生学の教科書を執筆し、医学教育には予防医学と法律が必要だと説く。
- ・初めて腸チフス予防注射を広めた。
- ・自身は果物を煮て食べる習慣だったという。



生活習慣、労働・社会環境と自然環境の不健康をなくすこと。

・衛生と保健のちがいは、
**生命をまもる衛生
生活をまもる衛生
生産をまもる衛生**

期間を限定して達成度で評価する

- ・高脂血症、高血糖、高尿酸血指導
- ・禁煙プログラム（ニコレット処方）
- ・脂肪肝に対する断酒療法
- ・運動指導、レクリエーション支援
- ・過労のチェック

衛生活動の日
(火・木の午後1:30～4:30)

- ◆ 1. 保健衛生活動の評価
- ◆ ・ 再検査未受診者について緊急性の分類
- ◆ ・ 診療所利用者の入力と統計の相談
- ◆ ・ 症例検討・診療内容の勉強
- ◆ ・ 治療放置患者の追跡調査

- ◆ 2. 保健衛生学習
 - ◆ ・ 環境測定法、疫学演習
 - ◆ ・ EXTES 、DB-Front 活用法
 - ◆ ・ コンピュータの使い方 (EXCEL、Word、PowerPoint)
 - ◆ ・ 文献紹介
 - ◆ ・ 健康教育、保健指導の実際、研修会
- ◆ 3. 職場巡視、保健相談、衛生活動実施記録の記入

第138回岩手県医師 信用組合理事会報告

坂井 博毅

第138回岩手県医師信用組合理事会は平成14年11月2日ホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。以下次第を掲載しますがその詳細な内容についてはいわて医報をご覧いただきたい。

銀行業界が厳しい環境にある中で当岩手県医師会信用組合は健全経営がなされているとのことです。会員の先生方の更なる活用をお願いし、これまでの事業の概況を掲載し報告させていただきたいと思います。

事業の概況

平成14年度上期の事業概況をご報告申し上げます。

本年度上期(4月～9月)の国内経済は、5月の月例経済報告で政府は輸出や生産活動の好転から景気が底入れしたとの判断が示されました。6月のワールドカップサッカーの高揚した気分にも押されて、景気回復機運をつかみかけたのもつかの間、米国経済の停滞傾向や予想以上の情報技術(IT)需要の回復立ち遅れで、輸出の腰折れ不安と、株価の下落が不良債権問題をさらに深刻化させ、デフレ経済に拍車を掛けかねない警戒感が広がりました。

政府は、構造改革を中心とした景気回復を進めていますが、早期に大胆な先行減税や規制改革などを軸とした総合経済戦略の断行が待たれる状況にあります。

一方、金融業界においては、景気の低迷が反映して、大手銀行を中心とした不良債権処理の増加や株価低迷による損失処理など、引き続き厳しい経営環境下にあります。

このような状況下で、当組合は組合員の先

生方ならびに関連諸団体のご支援、ご協力により、第32期中間決算を、次のような業績を収めることができました。

預金積金は、年間で6億9百万円増加し、9月末残高は169億55百万円となりました、その伸び率は3.73%あります。

貸出金は、年間で3億75百万円増加し、9月末残高は60億28百万円となりました、その伸び率は6.63%あります。

収益面では、低金利政策が続く中、資金運用利回りの低下が見込まれましたので、効率的な資金運用に努めた結果、上期の純益は、84百万円を計上することができました。これは前年比8百万円の減益であります。

なお、資金運用面での、保有する有価証券の評価益(含み益)は、15億41百万円であります。

また、経営の健全性を示す指標である自己資本比率は、18.23%で国内基準の4%を大幅に上まわる高い水準を維持しております。

このような業績をあげることができたことは、組合員各位のお力添えの賜であり、ここから厚くお礼申し上げる次第でございます。

ペイオフがこの4月から解禁されるなど、「金融ビックバン」もいよいよ大詰めをむかえ、金融期間を取り巻く環境は一段と厳しくなるものと想されます。

このような情勢のもと、当組合は役職員一一致協力して、今後とも経営基盤の強化と経営の合理化・効率化に傾注しながら収益力の強化と資産の健全性確保に努めて参る所存でございますので、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、事業報告いたします。



岩手県立沼宮内病院移転新築

坂井 博毅

岩手県立沼宮内病院は平成14年10月1日、岩手町大字五日市10-4-7に新築移転開業しました。岩手郡医師会只一の県立病院であり地域の病診連携の中心的病院として今後の活躍が期待されます。岩手郡医師会の岩手町医師団では昭和59年10月から毎月県立病院院長室でレントゲンカンファレンスを開催して来ましたが丸18年、200回を記念して、9月18日、町長を始め保健課や行政の方々、各医療機関のパラメジカルや職員、医師が新病院の見学会を行い、その後岩手町開発センターで記念祝賀会を行いました。



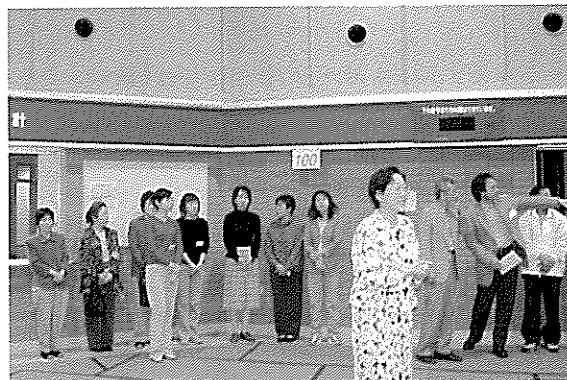
移転新築した県立沼宮内病院



病院入り口（正面）



院内の概況を説明する岡田院長（中央）



看護師の立場から解説する岩崎看護師



祝辞を述べる民部田岩手町長



懇親会風景

第54回岩手県医師会親睦野球大会に参加して

玉山村 三善 悟

今年の医師会親睦野球大会は、江刺市で開催。8月25日(日)全日程を盛会裡に終了した。雨の続く中この日丈晴れ、涼しく、例年の酷暑の中の大会でなくて凌ぎ易かった。

A ブロック

優勝 岩手医大医師会(第一内科)A

準優勝 釜石医師会

第3位 水沢医師会

江刺医師会

B ブロック

優勝 東磐医師会

準優勝 岩手医大医師会B

第3位 北上医師会

県立中央病院A



岩手郡選手団
前列 左より 梅田、立本、高橋(奥)、シマ、薄井
後列 左より 三善、西島、久保谷、高橋(牧)、太津、北上、成島

矢張りというか、若い選手、熟年でも往年の名プレーヤーを揃えたチームが、上位独占である。齡を重ねても毎日ボールを握るとか、キャッチボールをするとか、練習或は練習試合が多ければ、そこそこのゲームは可能ではなかろうか。(ムリな話ではあるが)

開会式も終り、グラウンドへ。坂を上り車のすれ違いも出来ない所を行く。昨年の花巻東高のグラウンドとは雲泥の差、岩谷堂高校グラウンドである。試合中スコアをつけている所へ、「成島さんはどの方ですか」と声をかけられた初老の方があり岩谷堂高校の校長さんで成島先生の盛岡一高の恩師の方だった。

吾が岩手郡チームは、プレーヤー9人のみ。ベンチには、会長、西島副会長、柄内、篠村(達)両先生と小生、何れもプレーはと縁のなくなった5人だった。

第一戦 北上医師会A 平均年齢46.7才

岩手郡医師会 48.3才



対北上A 久保谷投手

只残念乍ら相手の方が、昔やった連中が揃っていた。

先攻北上(これが拙かった)

トップバッターにサード内野安打、すぐ2、3盗、2番バッターに三遊間抜かれ1点。3番に死球、すぐ盗塁で2、3類、4番三振で1アウト。5番のファーストゴロで2アウトの間にサードランナー還り2点目、6番死球、7番四球満塁となつたが8番サードゴロで2点守り切る。

二回は2本の二塁打で1点献上。

三回は岩手郡チーム完全にパンク。1アウト



後、四球、ヒット、四球、二塁打、ヒット、四球、エラー、ヒット、ヒット、ヒット、それに足をからめられ盗塁13ヶで10点。3本のサードゴロで三回終了。

岩手郡チームはヒット2本(薄井、嶋のヒット)に抑えられ完敗であった。二回までは良くやったと思う。三回は投手が皆疲れストライク入らず、ランナーはフリーパスでは全く試合にならなかった。滝沢のグラウンドで8月の熱い中練習もやったが本当に野球はキツイ!

敗者親善試合は紫波郡医師会と。この試合は先攻。前の試合と全く逆。沢山の四球を貰い。相手の投手暴投多く、植田、大津の快打で一回8点奪取。相手に粘られ乍らも8-6で勝ちました。

投手やった久保谷、成島、薄井、捕手やった嶋、高橋(克)、

ファーストの大津、外野守った北上、植田、立本の各先生方

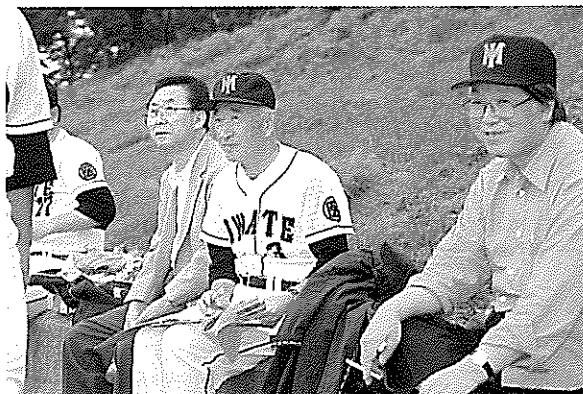
本当にご苦労様でした。対北上戦でサードゴロ連続3本さばいたサード成島、昔の長島の様でした。高橋(克)先生には奥様、子供さんと市内巡りを中止させてしまって済みません。

来年の55回大会は気仙郡。次期開催地医師会長、桜井先生の挨拶もありました。

又、暑い中参加しましょう。応援もよろしくお願ひ致します。

メンバー (打順) (守備) (氏名) (会員登録)

- 1 (遊) 薄井 知道 (鶴宿温泉病院)
- 2 (一) 大津 友鬼 (沼宮内病院)
- 3 (三) 成島勝之助 (成島整形外科)
- 4 (投) 久保谷康夫 (鶴宿温泉病院)
- 5 (二) 高橋 克郎 (葛巻病院)
- 6 (捕) 嶋 信 (嶋医院)
- 7 (左) 北上 明 (栃内第二病院)
- 8 (中) 植田 修 (植田内科)
- 9 (右) 立本 仁 (立本整形外科)



ベンチ・ブレイン
より西島、三澤、高橋経の先生

みんなの いわて を
医 協
ご利用ねがいます

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料
その他・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から
各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事
務代行事業・高速道路割引カード・その他各種

TEL.019-626-3880
購買専用
0120-054-222
FAX.019-626-3883

URL <http://www.ginga.or.jp/isikyo>
E-mail isikyo@rose.ocn.ne.jp

 **いわて医師協同組合**
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION

〒020-0024 盛岡市堀町二丁目8番20号 岩手県医師会館内

県医師会親睦ゴルフ大会参戦記

とき：平成14年9月29日(日) ところ：石鳥谷町 盛岡南ゴルフ倶楽部
西根町 嶋 信

昨夜来の雨があがり、あまり風もなく、時折晴間も見られるコンディションの中、第36回県医師会親睦ゴルフ大会は、花巻市医師会の担当で、平成14年9月29日(日)石鳥谷町の盛岡南ゴルフ倶楽部において行われた。担当医師会の若手の先生方の日頃の精進の賜物と県医師会長は表彰式で讃め讃えていたが、今回の参加者は、ゲスト(県議員、県医療局長など)を含めて148名であり、年齢別にグランドシニア、シニア、壮年、青年、レディース(Dr.夫人)の各部門に分かれて(ダブルペリア方式によるハンデを採用)、早朝よりかけつけたゴルフ愛好家によって競技が開始されたが、始球式をつとめたのは県医師会長、岩手医大医師会長、地元花巻市医師会長により行われた。

岩手郡より今回参加された先生は数多くのシングルプレーヤーの先生は都合により参戦できず、シニアの部の小生と小山田喜敬先生2人だけとなり、とてもさびしい表彰式・懇親会場であった。第34回(みちのく古都C.C.)大会について再び2人だけとなり、団体戦(上位5名のNET合計による郡市医師会対抗戦)には参加できなかった。プレーの内容についてはあまり触れたくないので、コースと懇親会の様子をかきつづってみます。

今年のコースのコンディションは8月中の暑さも少なかったため、非常に良好であり、フェアウエーはフワフワした感じでとても良かった。さすが庭園工事を手がけている管理者だなあと感じた。南コースのOUT・INを回った方々には好スコアが続出した。また一方で後からオープンした東コースに選ばれた参加者の多くは、「南コースのOUT・INを回る人に比べて、このコースに当たった方はとても不運で、差がありすぎるのではないか?」と口々に言っていた。というのはティグランドに立ったとき、コースを見渡せば、左右が

とても狭く感じ、特に右や左にぶれるボールを打つ人にとっては、どう打つたらいいのか打ちようがない、とてもとてもドライバーでは打てない恐いホールが多い。また、グリーンも高低差があり、思うようにならないのでパークオンしても3パット以上の人が多くいたという。よってスコアに不満の残るコースである。結果は惨憺たるもので、シニアの部第25位嶋 信、第31位小山田喜敬先生であった。

地元花巻市医師会の先生方の成績はそこぶる良好で、33,34グロス67ハンディキャップ+3.6というプロ並みのスコアで回る先生がいたり、レディースの部、シニアの部、壮年の部の優勝者がたり、各部門で上位入賞者が多く、地元花巻市医師会の表彰者が特に目立ち、団体戦の優勝も勝ちとった。今回の大会で特記すべきことはグロス80以下、即ち70代のスコアの人が多数あり、特に青年の部(50才以下)では8人もおりました。また、ダブルペリアのハンディが+3.6となったのは今回が初めてではないでしょうか。レベルの高い人はそれなりに、また初心者は初心者なりに出て多くの学ぶことが多いはずです。

昨年の大会で、次期開催地会長(花巻市医師会)挨拶のなかで、「参加者全員に賞品を用意します。(参加賞は別として)」と言ってしまった手前、今年は地元大迫町のワイン1本とぶどう1箱がプレゼントされた。とてもおいしい賞品であった。次回開催地は北上医師会の担当であり、栗駒ゴルフ倶楽部において来年9月を予定していますこと、今年の例がかなりのプレッシャーになったのではないでしようか。

近々に当医師会も担当しなければならない時期かと思われますので愛好家の皆さん多数次回には参加しましょう。



南国の初冬の風景

編集後記

- 学術講演会と高橋副会長先生の厚生大臣受賞記念祝賀会に出席出来ず、写真は一部高橋孝先生、大部分をいつも様に柄内先生にお願いし撮っていただき、取材を坂先生におねがいした。たいへんありがとうございました。
- 表紙と裏表紙の写真は九州福岡でのセミナーに参加しさうに撮影した。表紙の唐津城は澄み渡る青空に浮ぶお城が大変美しく思われた。戊辰戦争で賊軍となり城壁だけとなつた不来方城がふと脳裏をかすめました。裏表紙のイルミネーションは福岡市内で撮影しました。雪のない南国の冬の夜を飾る光の輝きにみとれてしまいました。
- 会報の発行が遅れ、はや年末を迎えようとしています。諸先生方が来年もお元気でご活躍されますよう心から祈念し、出来れば岩手郡医報への御投稿が多からんことを希望して年末号といたします。(坂井 博毅)